



山田悠介

あなたは生きる意味を考えたことはありますか？

青少年自殺抑制プロジェクトセンターで、監視員として勤務する南洋平。ここには4人の少年少女に、自らの命を絶つ【赤いスイッチ】を持たせ、実験を繰り返した。極限状態での実験で、孤独に耐えられず次々と命を絶つはが、この4人は“7年間もスイッチを押さずに”という異例の子供たちだ。彼らが生きたいと願う理由を聞き、平は脱出を図るが、そこには非情な運命が待ち受けており——!? **人の生死**について深く考えさせられる一冊である。